



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月6日

上場会社名 **ダイダン株式会社** 上場取引所 **東**
 コード番号 **1980** URL <http://www.daidan.co.jp/>
 代表者 (役職名) **代表取締役社長執行役員** (氏名) **北野 晶平**
 問合せ先責任者 (役職名) **取締役専務執行役員業務本部長** (氏名) **河久保 弘和** TEL **06-6447-8003**
 四半期報告書提出予定日 **平成26年11月7日** 配当支払開始予定日 **平成26年12月1日**
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : **無**
 四半期決算説明会開催の有無 : **有**

(百万円未満切り捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	54,639	△1.9	1,585	57.2	1,772	47.2	930	199.8
26年3月期第2四半期	55,701	△0.9	1,008	219.1	1,204	215.8	310	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,642百万円 (△13.0%) 26年3月期第2四半期 1,888百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	20.87	—
26年3月期第2四半期	6.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	102,011	47,276	46.2	1,055.54
26年3月期	111,347	46,609	41.7	1,040.67

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 47,083百万円 26年3月期 46,420百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
27年3月期	—	8.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : **無**

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	123,000	△1.2	4,000	△4.1	4,000	△10.5	2,200	31.7	49.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : **無**

(参考) 予想受注工事高 「通期」 123,000百万円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3の「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	45,963,803株	26年3月期	45,963,803株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	1,358,127株	26年3月期	1,357,727株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	44,606,550株	26年3月期2Q	44,611,867株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)個別業績予想

平成27年3月期の個別業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	122,000	△0.8	4,000	△1.5	4,000	△8.2	2,200	37.5	49 .32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) 予想受注工事高「通期」122,000百万円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
4. 補足情報	10
部門別受注工事高・完成工事高・繰越工事高（連結）	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税による反動減の影響も緩やかながら和らぐなど、一部に回復の兆しが伺えたものの、そのテンポは鈍く、本格的な回復には至りませんでした。

建設業界におきましては、既存設備の老朽化に伴う更新の必要性が増していることに加え、企業収益が改善傾向にあることなどから、民間設備投資の回復が期待されましたが、増税後の内需の減少もあり、低調な推移となりました。

このような状況のもと、中期経営計画「新たな時代にチャレンジするダイダグン」に基づき、受注と利益の確保に取り組んでまいりました結果、当第2四半期連結累計期間における業績は次のとおりとなりました。

受注工事高は、前年同四半期連結累計期間比11,814百万円増の74,120百万円となりました。

完成工事高は、受注工事高が堅調であったものの、手持ち工事の進捗が伴わず、前年同四半期連結累計期間比1,062百万円減の54,639百万円となりました。

完成工事総利益は、完成工事高が減少するも、完成工事総利益率の改善により、前年同四半期連結累計期間比681百万円増の6,619百万円となりました。

営業利益は、完成工事総利益の増加を受け、前年同四半期連結累計期間比576百万円増の1,585百万円となりました。

経常利益は、為替差益が前年同四半期連結累計期間比28百万円減の40百万円となりましたが、営業利益の増加を受け、前年同四半期連結累計期間比568百万円増の1,772百万円となりました。

四半期純利益は、平成26年3月4日に北陸新幹線の設備工事の入札に関する独占禁止法違反の容疑により東京地方検察庁から起訴された件につきまして、その後の過程において今後発生しうる損失額を見直した結果、独占禁止法関連損失引当金繰入額113百万円を計上しましたが、経常利益の増加を受け、前年同四半期連結累計期間比620百万円増の930百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は75,968百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,755百万円減少いたしました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金の減少(14,655百万円)等が、現金及び預金の増加(3,692百万円)及び未成工事支出金の増加(807百万円)等を上回ったことによるものです。

固定資産は26,042百万円となり、前連結会計年度末に比べ419百万円増加いたしました。主な要因は投資有価証券の増加(1,039百万円)等が、退職給付に係る資産の減少(610百万円)等を上回ったことによるものです。

この結果、総資産は102,011百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,336百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は48,220百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,319百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形・工事未払金の減少(8,262百万円)、未払法人税等の減少(802百万円)及び未成工事受入金の減少(476百万円)等によるものです。

固定負債は6,514百万円となり、前連結会計年度末に比べ316百万円増加いたしました。主な要因は、長期借入金の増加(137百万円)、繰延税金負債の増加(116百万円)及び退職給付に係る負債の増加(67百万円)によるものです。この結果、負債合計は54,734百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,002百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は47,276百万円となり、前連結会計年度末に比べ666百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益の計上(930百万円)及びその他有価証券評価差額金の増加(667百万円)等が、退職給付に関する会計基準の適用による期首調整に伴う利益剰余金の減少(618百万円)及び剰余金の配当(356百万円)等を上回ったことによるものです。

この結果、自己資本比率は46.2%(前連結会計年度末は41.7%)となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ3,692百万円増加し、28,291百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は3,965百万円(前年同四半期連結累計期間は372百万円の資金の増加)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上及び売上債権の減少等の資金の増加要因が、未成工事支出金の増加、仕入債務の減少、未成工事受入金の減少及び法人税等の支払額等の資金の減少要因を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は190百万円(前年同四半期連結累計期間は78百万円の資金の減少)となりました。主な要因は、有形固定資産及びその他の固定資産の取得による支出等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は115百万円(前年同四半期連結累計期間は855百万円の資金の減少)となりました。主な要因は、短期、長期借入金の返済による支出及び配当金の支払額等が、短期、長期借入れによる収入を上回ったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月8日公表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を、従業員の平均残存勤務期間に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が88百万円増加し、退職給付に係る資産が878百万円、繰延税金負債が347百万円及び利益剰余金が618百万円それぞれ減少しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,626	28,318
受取手形・完成工事未収入金	57,189	42,534
未成工事支出金	152	960
材料貯蔵品	0	0
繰延税金資産	1,273	1,163
その他	2,488	2,995
貸倒引当金	△6	△4
流動資産合計	85,724	75,968
固定資産		
有形固定資産	3,788	3,780
無形固定資産	260	188
投資その他の資産		
投資有価証券	13,229	14,268
繰延税金資産	1	1
退職給付に係る資産	6,921	6,310
その他	2,086	1,686
貸倒引当金	△665	△194
投資その他の資産合計	21,574	22,072
固定資産合計	25,623	26,042
資産合計	111,347	102,011

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	40,007	31,744
短期借入金	5,686	5,789
未払法人税等	1,381	579
未成工事受入金	3,124	2,647
賞与引当金	—	1,413
役員賞与引当金	—	42
完成工事補償引当金	92	100
工事損失引当金	130	175
独占禁止法関連損失引当金	771	884
その他	7,346	4,843
流動負債合計	58,539	48,220
固定負債		
長期借入金	1,903	2,041
繰延税金負債	2,304	2,421
退職給付に係る負債	1,398	1,465
環境対策引当金	220	220
海外投資損失引当金	18	13
長期未払金	352	352
その他	0	0
固定負債合計	6,197	6,514
負債合計	64,737	54,734
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,479	4,479
資本剰余金	4,809	4,809
利益剰余金	34,597	34,553
自己株式	△666	△666
株主資本合計	43,221	43,176
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,690	4,357
為替換算調整勘定	68	55
退職給付に係る調整累計額	△559	△507
その他の包括利益累計額合計	3,199	3,906
少数株主持分	189	193
純資産合計	46,609	47,276
負債純資産合計	111,347	102,011

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
完成工事高	55,701	54,639
完成工事原価	49,764	48,020
完成工事総利益	5,937	6,619
販売費及び一般管理費	4,929	5,034
営業利益	1,008	1,585
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	107	118
受取保険料	82	96
為替差益	68	40
その他	25	18
営業外収益合計	293	281
営業外費用		
支払利息	75	82
支払保証料	12	3
その他	9	8
営業外費用合計	97	93
経常利益	1,204	1,772
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
減損損失	—	5
固定資産除却損	0	10
投資有価証券評価損	57	5
ゴルフ会員権評価損	1	0
独占禁止法関連損失引当金繰入額	—	113
訴訟損失引当金繰入額	345	—
特別損失合計	404	136
税金等調整前四半期純利益	800	1,637
法人税、住民税及び事業税	212	537
法人税等調整額	251	160
法人税等合計	463	697
少数株主損益調整前四半期純利益	336	939
少数株主利益	26	8
四半期純利益	310	930

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	336	939
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,510	667
為替換算調整勘定	41	△17
退職給付に係る調整額	—	52
その他の包括利益合計	1,552	702
四半期包括利益	1,888	1,642
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,847	1,638
少数株主に係る四半期包括利益	41	4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	800	1,637
減価償却費	214	181
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	20	△473
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△46	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△12
訴訟損失引当金の増減額 (△は減少)	336	—
海外投資等損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△5
受取利息及び受取配当金	△116	△125
支払利息	75	82
投資有価証券評価損益 (△は益)	57	5
固定資産売却損益 (△は益)	—	△1
減損損失	—	5
独占禁止法関連損失引当金の増減額 (△は減少)	—	113
固定資産除却損	0	10
ゴルフ会員権評価損	1	0
売上債権の増減額 (△は増加)	6,246	15,126
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△592	△807
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△67	△554
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△455	—
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△193
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,683	△8,262
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	958	△476
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	320	△995
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△2	—
小計	1,068	5,254
利息及び配当金の受取額	116	125
利息の支払額	△75	△83
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△736	△1,332
営業活動によるキャッシュ・フロー	372	3,965
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	49	—
有形固定資産の取得による支出	△107	△98
有形固定資産の売却による収入	—	3
投資有価証券の取得による支出	△7	△2
貸付けによる支出	△1	—
貸付金の回収による収入	2	1
その他の固定資産の取得による支出	△31	△118
その他の固定資産の売却による収入	17	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78	△190

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	16,520	18,120
短期借入金の返済による支出	△17,120	△18,220
長期借入れによる収入	1,300	1,400
長期借入金の返済による支出	△1,061	△1,058
自己株式の取得による支出	△3	△1
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△490	△356
財務活動によるキャッシュ・フロー	△855	△115
現金及び現金同等物に係る換算差額	78	32
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△482	3,692
現金及び現金同等物の期首残高	22,420	24,598
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,937	28,291

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

部門別受注工事高・完成工事高・繰越工事高 (連結)

(単位:百万円)

		前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		前連結会計年度	
		(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	
		金額	構成比%	金額	構成比%	金額	構成比%
受注 工事 高	電気工事	11,545	18.5	17,998	24.3	28,808	22.6
	空調工事	38,953	62.5	40,143	54.2	75,277	59.1
	水道衛生工事	11,806	19.0	15,977	21.5	23,307	18.3
	合計	62,305	100.0	74,120	100.0	127,394	100.0
	(リニューアル工事)	36,541	58.7	34,738	46.9	71,595	56.2
	(海外工事)	4,242	6.8	6,077	8.2	10,385	8.2
完成 工事 高	電気工事	12,068	21.7	10,645	19.5	26,528	21.3
	空調工事	30,975	55.6	32,727	59.9	71,134	57.2
	水道衛生工事	12,657	22.7	11,266	20.6	26,783	21.5
	合計	55,701	100.0	54,639	100.0	124,445	100.0
	(リニューアル工事)	26,318	47.3	27,095	49.6	65,293	52.5
	(海外工事)	2,277	4.1	4,041	7.4	6,237	5.0
繰越 工事 高	電気工事	10,566	12.2	20,723	20.2	13,370	16.2
	空調工事	55,756	64.6	59,337	58.1	51,921	62.7
	水道衛生工事	20,049	23.2	22,136	21.7	17,425	21.1
	合計	86,371	100.0	102,197	100.0	82,716	100.0
	(リニューアル工事)	30,585	35.4	34,307	33.6	26,664	32.2
	(海外工事)	5,669	6.6	9,888	9.7	7,852	9.5